

21PO-am004S

カンファースルタムアミド *N*-ボラノニトロンの立体選択的付加環化反応を利用した **negamycin** の合成研究

○川口 勇輔¹, 梶木 優希¹, 彦坂 一成¹, 橋本 善光¹, 森田 延嘉¹, 田村 修¹ (¹昭和薬大)

【目的】*N*-ボラノニロン [*J. Org. Chem.* **2008**, *73*, 7164.] にカンファースルタムを導入して付加環化反応を検討し、その付加環化体を天然物の全合成に応用する。

【結果】不斉補助基としてカンファースルタムを導入した TBS オキシム(1*S*)-**1** に BF₃·OEt₂ を作用させて発生させた *N*-ボラノニロン **2** と各種アルケンとを反応させ、その反応性や立体選択性について精査した。また、(1*R*)-**1** とホモアシルシリルエーテルとの付加環化体 **5** は **negamycin** (**10**) と同様の立体化学を有するため、これを利用した全合成を目指した。現在のところ、**5** から Curtius 転位を含む 7 工程の変換を経てアジド **9** の合成に成功している。

